

# 新年のご挨拶

対馬市長 松村 良 幸



新年あけましておめでとう  
ございます。

皆様方におかれましては、  
輝かしい新春をお迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

早いもので、市長に就任し  
てもなく3年が過ぎようと  
しております。振り返りま  
すと、無我夢中で財政の再建と  
行政システムの改革に取り組  
み、任期も残すところ1年余  
となりました。

このような中、昨年は、市  
内の小学校区を単位とした市  
政説明会を開催し、市の現状  
や今後の取り組みについて、  
市民の皆様にご説明させ  
ていただきました。また、参  
加された皆様からは、市に対  
するご提言や要望をお聞きす  
ることができました。さらに、  
窓口アンケートを全部署で実  
施し、市民皆様が日頃感じて  
おられる市役所に対するご意  
見を頂戴いたしました。

頂戴したご提言を受け、広  
報つしま、ホームページ等  
を通じて、各部署の重点的な取  
り組みや組織目標を紹介した  
ほか、窓口サービスの充実と  
新たな市民ニーズに基づく行  
政システムに対応するため、  
組織機構の改正、窓口部署内  
の改革、全職員に対するマナ  
ー研修を実施してまいりまし  
た。また、交流人口の拡大を  
図り地域の活性化のため、対  
馬市交流センターや市民協働  
で半井桃水館の整備を行いま  
した。さらに、積極的な企業  
誘致と観光振興のため、市長  
補佐官を民間から招聘し、第  
一次産業と観光の融合するま  
ちづくりを推進し、若者の定  
住と、交流人口の拡大を目指  
して努力をしてまいりました。

このように、市民の皆様の  
ご理解とご協力をいただきな  
がら、積極的に財政の再建と  
行政システムの改革に取り組  
んでまいりましたが、市の行  
政に関わる問題でテレビ、新  
聞等での報道は、市民の皆様  
に大きな不安と動揺を与えて  
しまい、私の不徳の致すこと  
と深くお詫び申し上げます。  
このようなことを教訓に、  
私以下全職員が意識改革をさ  
らに進め、行動する姿勢を表  
面に現していかなければなら  
ないと思っております。その  
一環として、それぞれの地域  
での清掃やイベントなどでの  
活動を通じ、市民協働への取  
り組みが評価され、好感度が  
アップしていることは、私の  
喜びの一つでもあります。ま  
た、税務課等の午後からの時  
差出勤をはじめ、改革の基本  
であります固定観念の打破、  
常識への挑戦が今ようやく始  
動しつつあり、創意と工夫に  
よるまちづくりも一つ一つ着  
実に進んでおります。

本年も全力で行財政改革を  
推進し、市民皆様の公共サー  
ビスに対する満足度を高める  
ため、財政の再建、行政シス  
テムの改革に取り組み、行政  
事務や事業を見直し、市民皆  
様と行政が協働し、共に働く  
市民協働のまちづくり、体制  
づくりを目指して、その実効  
を上げるべく取り組んでまい  
ります。改革を進めてまいり  
ます上では、市民の皆様には、  
ときにご不満や痛みをもちた  
すものと思いますが、将来を  
見据えた対馬づくり、まちづ  
くりのためにご理解を賜りま  
すようお願い申し上げます。  
さらに、第一次産業の活性  
化と観光振興、企業誘致等に  
よる雇用の創出を図り、若者  
からお年寄りまで安心して住  
めるまちづくりをめざしなが  
ら、郷土対馬の再生と発展の  
ため、在職期間中は全身全霊  
で市政に取り組んでまいり所  
存であります。今後とも、皆  
様には、より一層のご指導と  
ご支援、ご協力を賜りますよ  
うお願い申し上げます。ご挨拶  
とさせていただきます。

- 11日 99歳到達者褒状贈呈式  
13日 政策推進懇話会からの  
提言書受領  
14日 対馬市議会第3回臨時  
会  
18日 19日 県市長会要望並び  
に知事との意見交換会、  
後期高齢者広域連合発  
足式 (長崎)  
20日 22日 全国離島振興協  
会理事會、離島振興関  
係予算獲得運動(東京)  
25日 26日 県離島医療圏組合  
会議会 (長崎)  
27日 99歳到達者褒状伝達、  
叙勲伝達、定例記者発表  
28日 仕事納め式

## 市長の動き

《12月》

# 将来を見極める 大事な一年に向けて

対馬市議会議長 波田政和



新年あけましておめでとう  
ございます。

市民皆様には、ご健勝にて  
ご家族お揃いでお正月を迎え  
られたこととお慶び申し上げ  
ます。

私、昨年の5月に前平間議  
長の後を受け、議長としての  
重責を担うこととなりました  
が、議会運営の難しさを日  
経つにつれ、痛感している  
ところであります。昨年の12月  
定例会におきまして、議長不  
信任による議長進退につき議  
会が空転し、流会となり、再  
度第3回臨時会を12月14日に  
招集通知したところ、欠席議  
員が多く、臨時会を開くこと  
ができませんでした。市民の  
皆さんから「市民不在の議会  
だ」との怒りの声も聞くな  
か、多大なご心配をおかけし  
ていることに心からお詫び申し  
上げます。

今後においては、議長とし

ての自覚を再認識し、議会の  
正常化と市民皆様方の立場に  
たった議会運営に傾注してい  
く所存でありますので、ご理  
解とご支援を重ねてお願い  
いたします。

昨年を振り返ってみますと、  
対馬の基幹産業であります水  
産業は、地球温暖化や外国船  
の乱獲、違反操業等の影響に  
より、水産資源が減少するな  
か、燃料の急激な高騰が拍車  
をかけ、漁業者にとっては厳  
しいものがあつたと思われま  
す。また、農林業におきまし  
ても、イノシシやシカの被害  
が全島的に報告されるなど、  
安心して農作業に従事ができ  
ないなど、第一次産業の關係  
者にとっては頭を抱える問題  
が山積し、その対策に苦慮し  
た一年でもありました。

明るいことと言えば、長年  
待ち望んでいた敵原町の今屋  
敷再開発ビル、対馬市交流セ

ンター」がオープンすること  
ができ、市民の文化、芸術の  
場として末永く愛されること  
を願うものであります。

このようなか、対馬市は、  
第一次産業と体験型観光事業  
との融合を図りながら、交流  
人口を増やすことにより地域  
の活性化を目指していますが、  
離島対馬における様々な難局  
難題を乗り越えながら、市民  
皆様の生活の向上と幸せが感  
じ取れるような施策を実現す  
るために、議会としても日々  
の研鑽が必要なことを痛感し  
ているところであります。

地方分権という大波のなか  
で、対馬市は合併しましたが、  
補助金や地方交付税や地方へ  
の税源委譲などの三位一体の  
改革は、対馬市にとってどの  
ような影響を受けるものなの  
か、市民皆様の立場にたつて  
検証することが必要でもあり  
ます。それと同時に、「国境の

島 対馬」の地理的、歴史的  
存在を国内外にも知らせ、対  
馬市独自の施策に反映させる  
ことが必要な時期ではないで  
しょうか。

選挙によって選ばれた私た  
ち議員は、主権者である市民  
と常にスクラムを組み、市民  
皆様の立場にたつての活動を  
展開することが、この新しい  
対馬市づくりの基本であると  
考えているところであります。

今年「亥」年であります。  
対馬の将来を見極める大事な  
一年となると思います。若者  
が定住し、子や孫が安心して  
暮らせる地域づくりのために  
何が必要なのか。私たち議会  
人も自覚と創意工夫の気構え  
を常におき、対馬の振興策に  
突進する所存でありますので  
よろしくご理解をお願いいた  
します。

ここに、平成19年の年頭に  
あたり、対馬市議会がさらな  
る市民への架け橋的存在とし  
て新たな一歩を踏み出すこと  
を誓い、市民皆様のご健勝と  
ご活躍を心から祈念し、年頭  
のあいさついたします。

「飲酒運転撲滅宣誓書」を  
警察署長へ提出  
対馬市職員 885名分



宣誓書を提出する永尾助役

飲酒運転による交通事故の  
全国的な高まりを受け、年末  
の交通安全県民運動初日の12  
月12日、対馬市職員（囑託、  
委託、臨時職員を含む）88  
5名分の「飲酒運転撲滅宣誓  
書」が永尾助役から泉尚幸対  
馬南警察署長へ提出されまし  
た。

宣誓書は、「安全で快適な  
地域社会を実現するため飲酒  
運転撲滅に邁進することを誓  
います」という内容で、市職  
員の署名、なつ印がされてい  
ます。

宣誓書を受け取った署長は  
「市職員を通して家族や地域  
の人々に広がり、事故の減少  
につながれば」と話していま  
した。